



代表取締役

長尾 健一

新潟県出身。大学で物理を専攻し、卒業後は計数機等の電気回路の設計を行う。その後アメリカでの勤務経験を経て帰国。『コマツソフト（現クオリカ）』でオフィスコンピュータに関する専門技術を磨いた後、独立して『NCS』を設立した。

2013年に「高齢者雇用安定法」が改正された関係で、高齢者が早期退職を促されたり、高齢技術者に対する長期案件の募集が減ったりといった状況で、活躍の場がない高齢技術者は多いんです。

Commemorative Photo



非常勤担当取締役の山下初子さんも交えて記念撮影

check Point

□『NCS』では、『IBM』の『IBMi（旧AS400）』を中心にシステム開発・保守を行っている。IBMiはハードウェアの故障が少なく、高い信頼度が要求されるシステムに最適で、機種間の互換性も良い。またバージョンアップなどがあってもシステム変更はほとんどないという。そのため、長期に安定して使われていることが前提のコンピュータであり、それ故に開発や保守に携わる業者の責任感は大い。その点、同社が携わったシステムで、ハードウェア障害によるシステムダウンなどは、これ

IBMiのスペシャリストとして

までに一件もないという。
□先述のように、IBMiは長期的に使われるケースが多いコンピュータだ。長期的な利用の中では、法改正に対応するためのシステム改修など、様々な要因から現状システムの全体把握が困難なものになっているケースが多いという。そのため同社では、定期的にシステムの現状分析をすることを推進。その上で最適な改善案を提示するという。IBMi関連で困り事があった時、何でも応えてくれるのが『NCS』という会社なのだ。

高齢技術者の雇用創出など 社会貢献できる企業を目指す

——コンピュータ関連の業界は若い方が多いイメージですが、いかがですか。
確かに、30代の方が多くいます。けれど、経験豊富な50代や60代の方の中には、かなり高度な技術や知識を持った方もいらっしゃいます。私は、そうした年代の方々が活躍できる場を作りたいと考えているんですよ。

よ。独立してすぐの時に、出張で広島に3カ月ほど行ってしまっていて、その際には各地から集まっている同業の方々との良い出会いがありました。毎晩のように皆で食事に行き、今で言う飲みニケーションで仲良くなっていったんです。そこから長い付き合いになった人も多く、人脈から仕事につながっていききました。専門的な仕事だからこそ、同業者同士のつながりは強く、重要なものなんです。

しかし現状、当社が扱っているのは割と古いタイプのコンピュータなので、この先仕事が増えていく見込みは薄い。そこで、今後は業種を増やし、個人情報管理に関わる仕事に着手したいと考えています。私の構想では高齢技術者のノウハウを活かせるものになりそうなので、うまく軌道に乗ったら、そうした人たちを多く雇いたいと思っています。

——雇用の創出というわけですね。それは社会貢献につながる、とても意義のあることですね。

長期案件を中心とした募集を行うつもりです。優秀な高齢技術者の就業の安定化を図り、社会貢献できれば嬉しいです。また当社では、紙資源や電力資源の消費低減を推進するなど、地球温暖化防止活動にも取り組んでいます。事業を行う中で、様々なかたちで世の中に貢献していきたいですね。

有限会社 NCS

【本社】神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 2-2-14-101
【SI 分室】神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 1-21-6-401
URL : <http://www.rm.co.jp>

長尾 健一 | 代表取締役 |



対談
interview

竹原 慎二 | 元 WBA 世界ミドル級チャンピオン |

国内外で学び 経験を活かして独立

——早速ですが、長尾社長の歩みからお聞かせ下さい。
大学で物理を学び、卒業後はお金の計数機等の電気回路の設計を行っていました。その時のノウハウを活かしてアメリカで働く機会に恵まれ、そこで5年ほど仕事をしました。帰国後は『コマツソフト（現クオリカ）』に入社し、AS400というオフコンでの業務システムの設計・製作をしていました。そこでは、全世界を通信で繋ぐシステムの構築を行っていたのですが、そのころはAS400が売り出されたばかりで、まだ通信系の事例が少なかったんです。APPN、Netview、RJE等の通信系を使ったシステム開発をAS400で実現した技術者は、国内に10人もいなかったのではないのでしょうか。業務的にもかなりのレベルが求められ、そこにやり甲斐を感じていましたが、あまりにも激務だったため退職し、独立しました。

——非常に専門的な分野で経験を積んでこられたようです。すごい経歴ですね。その後はどうされたのでしょうか。
法律関係にも興味があったので、その道に進むことも考えましたが、さすがに難しいと（笑）。やはり、自分が携わってきたコンピュータ関連の経験を活かそうと、独立してこの『NCS』を立ち上げたんです。『IBMi（旧AS400）』という、『IBM』が開発したオフコンのシステム開発や保守を主に行っています。

竹原 慎二

（元 WBA 世界ミドル級チャンピオン）—— guest comment

「高度な技術と専門知識が必要な業界を歩んでこられ、知的な雰囲気を持つ長尾社長ですが、意外にも『人とのつながりが大切』と言われたのが印象的でした。当日同席されていた、非常勤担当取締役として事務を担当する山下さんも、社長のことを『人情があり、義理を重んじる方』とおっしゃっていましたね。今後の構想も色々とおられるようですから、まだまだご活躍が楽しみです！」



確かな技術で以て、信頼性の高いコンピュータシステムを構築

IBMiのシステム開発や保守を中心に、システムコンサルティングなども手掛けている『NCS』。確かな技術と、人とのつながりを大切に作る姿勢で、信頼を築いてきた企業だ。本日は竹原慎二氏が同社を訪問し、長尾社長にインタビュー。その歩みや仕事に対する思いなどを伺った。